

## 平成28年8月定例会 提案説明要旨

### (はじめに)

関西広域連合議会平成28年8月定例会の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

連日、熱戦が繰り広げられていた第31回夏季オリンピック・リオデジャネイロ大会が先日、閉会しました。大会では、我が国の選手が日頃の鍛錬の成果をいかんなく発揮し、好成績を残され、我々に感動を与えてくれました。いよいよ次の大会は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックとなり、その前年には、ラグビーワールドカップ、翌年には、ワールドマスターズゲームズ2021の開催が予定されています。

そして、これらの大会を契機に、関西としても魅力を発信していくことが重要です。関西には多彩な個性と強みがあります。その関西が持つ強みに磨きを掛け、一層魅力ある関西となり得るよう、積極的に取り組みます。

議員の皆様には、関西の発展のため、引き続きご指導を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

それでは、提案理由の説明に先立ち、6月臨時会以降の主な取組について報告します。

### (熊本地震への対応)

関西広域連合は、熊本地震に対し、災害対策支援本部を設置するとともに、熊本県庁に現地支援本部、益城町、大津町、菊陽町に現地連絡所を設け支援を行ってきましたが、現地ニーズが復旧・復興に移行してきたことから、7月19日をもって、現地支援本部、現地連絡所による支援を終了しました。

これまで、救援物資の提供に加え、支援チームの派遣、避難所運営、家屋被害認定などの支援に、市町村を含め延べ7,423人・日の職員を派遣してきました。

今後は、被災地からの相談にワンストップで応じる相談窓口を設け、助言、情報提供の支援を継続するとともに、熊本県や被災市町村への中長期派遣について、構成府県市において調整を行っていくこととしています。

### (次期広域計画の策定)

有識者による「広域計画委員会」をこれまで2回開催するなど、現在、広域計画の見直しの作業を進めています。今後、総務常任委員会での審議をお願い

したうえで、10月末を目途に中間案をとりまとめます。その後、パブリックコメントや、市町村長との意見交換等を通じて中間案への意見を集約し、最終案をまとめます。

あわせて、東京一極集中を是正し、関西圏域の活力を取り戻すために策定した「関西創生戦略」についても、広域計画の見直しとあわせ、改訂を行います。

### **（政府関係機関の地方移転）**

関西への全面的な移転が決定した文化庁については、7月21日、文化庁長官を迎え、「文化庁」「関西広域連合」「関西経済連合会」による共同宣言を行いました。「文化の力で関西・日本を元気に」をテーマに、関西が持つ優れた文化資源を活かし、「観光と文化」「産業と文化」「暮らしと文化」「まちづくりと文化」の各視点から取組を進めることを内容とした共同宣言です。今後、三者が一体となって、「文化芸術立国」の実現を目指した取組を進めます。

また、消費者庁や総務省統計局などの政府機関についても、文化庁に続いて関西への移転が実現するよう、引き続き、経済界等と一体となって国への働きかけを行います。

### **（地方分権改革、提案募集）**

国の事務・権限の移譲については、国の地方分権改革推進本部が実施する地方分権改革に関する提案募集に対して、今年度も各府県市はもとより、関西広域連合からも「関西圏域の総合的な形成と土地利用・整備・保全を一体的に推進するための事務・権限」など、19項目について提案を行いました。

これらの提案のうち、7項目について所管府省の第一次回答が先日晒されました。「提案を踏まえ対応する」とされたものが1項目、「現行制度で対応可能」とされたものが3項目、「対応不可」とされたものが3項目となっています。

なお、「現行制度で対応可能」とされた事項であっても、提案の趣旨が正確に理解されていないため、第一次回答に対する関西広域連合の意見を提出しました。

今後、提案に関する対応方針について、年内には、地方分権改革推進本部決定及び閣議決定が行われる予定であり、引き続きより多くの提案が実現するよう国との協議を進めます。

### **(国際観光の推進)**

我が国を訪れる外国人旅行者は、昨年約1,974万人と過去最高を大きく更新し、今年に入ってから、国際的な政情不安や円高傾向はあるものの、7月末で1,400万人を超えました。今後、より多くの外国人旅行者に、関西を訪問し、広く周遊いただけるよう取組を進めることが重要です。その取組の一つとして、各自治体が提供している無料Wi-Fiについて、関西エリア内で初回の接続手続きを行うと、以降は認証の手続きなしで自動で接続可能となる認証連携を始めます。

### **(文化、スポーツの推進)**

東京オリンピック・パラリンピック等の開催に向けた関西文化の魅力発信については、国際シンポジウム「関西アーティスト・イン・レジデンス」の開催や関西の「食文化」PR映像作成事業などに取り組む予定です。

また、大学生を対象にワールドマスタースゲームズ2021をテーマとして地域活性化、スポーツ関連産業の活性化、スポーツツーリズムの推進に繋がるような取組の企画提案をコンペ方式により行う「インターカレッジコンペティション2016」を実施する予定です。

### **(G7神戸保健大臣会合関連)**

主要国首脳会議（サミット）に伴い開催される閣僚会合の誘致については、関西広域連合としても支援、協力を行ってきた結果、神戸での保健大臣会合が開催されることになりました。その「G7神戸保健大臣会合」にあわせて9月8日から11日まで開催されます「ひょうごKOB E医療健康フェア」に関西広域連合としてもブースを出展し、ドクターヘリの実機の展示、パネル展示などを中心に、関西広域連合の取組を発信する予定です。

### **(関西広域連合シンボルマークの決定)**

関西広域連合は、設立5周年を迎え、また奈良県の加入を機に、一層のイメージアップ、知名度アップを図るため、シンボルマークを作ることにしました。広く募集をしたところ、全国から205件の応募があり、その中から最優秀賞を選び、7月21日に表彰式を行いました。今後、シンボルマークをホームページ、パンフレットやバッジなどに活用し、広く積極的にPRを図ります。

### (提出議案の説明)

これより、提出した議案について説明します。

まず、第10号議案「平成27年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件」です。平成27年度の決算は、一般会計で、歳入19億3,812万4千円余、歳出18億7,074万4千円余となりました。

歳入歳出差引残額は、6,738万円です。

なお、別冊で地方自治法第233条第5項の規定に基づき、主要な施策の成果を説明する書類も併せて提出しています。

また、この決算については、先に監査委員の審査に付しましたところ、別添のとおり決算審査意見書の提出がありましたので、今回、関西広域連合議会に報告するものです。

次に、第11号議案「平成28年度関西広域連合一般会計補正予算（第1号）の件」です。歳入歳出それぞれ7,851万円を追加し、歳入歳出予算の総額を18億8,294万3千円とするものです。この度の補正予算は、平成27年度決算に伴うものと、無料公衆無線LANの利便性向上対策の実施に伴うもの、文化関係事業の国庫補助金採択に伴うもの、スポーツ振興事業費の国庫補助金採択に伴うもの、ドクターヘリ事業に係る平成27年度国庫補助金の一部返還に伴うもの及び資格試験・免許事業に係る平成27年度剰余金を資格試験等基金へ繰り出しをするものであります。

なお、平成27年度からの繰越金の5,115万1千円を、平成28年度構成団体の負担金に充当することとしています。

次に、第12号議案「関西観光・文化振興計画変更の件」です。訪日外国人旅行者の急激な増加に伴い、国が新たな観光戦略や数値目標を掲げたことを受け、関西観光・文化振興計画においても、数値目標等の一部見直しを行うものです。

### (おわりに)

以上で提出議案の説明といたします。議員の皆様におかれましては、よろしくご審議のうえ、適切にご議決をいただきますようお願いいたします。